

福岡市学習定着度調査5年生の結果について

5年生は9月4日に福岡市学習定着度調査を行いました。その結果をお知らせします。

1 調査内容

○ 国語，算数

※ 本校の正答率が福岡市平均と比べて「上回っている」「やや上回っている」「同程度である」「努力を要する」のいずれであるかについて表記しています。

2 結果の概要

(1) 国語及び算数の福岡市平均と比べての結果と正答率

| 教科 | 福岡市平均と比べた正答率 | 正答率が高い問題 | 正答率が低い問題 |
|----|--------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 国語 | 上回っている。 | ○物語文をはじめとした「読む」ことについての内容を理解すること。 | ●報告文を書くときに気をつけること。 |
| 算数 | 上回っている。 | ○比例の問題や三角形の角度を三角形の図から計算すること。 | ●面積，体積について求める問題や合同な形を作るにあたって作図すること。 |

(2) 生活習慣に関するアンケート

| よ さ | 課 題 |
|--|--|
| ○テレビやゲームをする時間が福岡市平均と比べて少なく，SNSなどの危険性を知っている子どもが多い。 ○家での学習をしている児童が福岡市平均よりも10ポイント以上高い。 | ●今住んでいる地域の行事に参加する児童が福岡市平均と比べて少なく，地域社会でのボランティア活動を行っている児童が少ない。 |

3 総評

国語，算数における全ての領域において正答率が高く福岡市平均より高くなっています。

国語では，目的に応じて本や文章を読みとれたり，内容や構成について理解したりする力は，福岡市平均よりも上回っています。しかし，報告文などを作成することについては，若干課題も見られます。

算数では，比例の問題や三角定規から角度を求める問題などについての設問は，正答率が高くなっていますが，作図の問題や面積・体積を求める問題の正解率は他の問題と比べて正解率が低くなっているようです。

生活習慣に関するアンケートでは，テレビの視聴時間やゲームの時間などメディアに依存する時間は短く，家庭学習や習い事での学習時間が福岡市平均と比べると長くなっていますが，地域行事の参加の割合や地域でのボランティア活動をしている児童の割合が少ない傾向にありました。

4 今後の取り組み

- 「めあて」と「まとめ」を明確にした学習を行うとともに、「物構え」「身構え」「心構え」といった学習規律の定着を図ります。
- 以下の活動を授業に位置付け、子どもの理解を深めていきます。
 - ・ 答えを導き出した過程や自分の考えを言葉、式、図などで表現し説明する。
 - ・ 友達の意見を聞き取って、友達の考えを書いたり、自分の考えと比べたりする。
 - ・ 1時間の学習で分かったことや感じたことを書く。
- 算数においては、個別指導などを通して子ども達の習熟の状況に合わせた指導に取り組みます。
- 4月に配付した家庭学習の手引きを踏まえ、宿題以外の自主的学習を進めていきます。
- 「読書週間」の取り組みやPTAの図書ボランティアによる読み聞かせを通して、読書活動を進めていきます。
- 「ノーテレビ・ノーメディア」や「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みを継続し、生活習慣を整えていくようにします。